

主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善について（英語） ～令和2年度鹿児島学習定着度調査の結果から～

義務教育課

調査結果を踏まえた授業改善のポイント

英語の結果は、中1の平均通過率は68.0%であり、このうち「基礎・基本」の問題が67.4%、「思考・表現」の問題が69.7%でした。また、中2の平均通過率は57.8%であり、このうち「基礎・基本」は62.6%、「思考・表現」は45.5%でした。主な課題の見られた問題は以下のとおりです。

「基礎・基本」

- ・ 動詞の語形変化を問う問題
- ・ 文脈から適語を選択する問題
- ・ 文と文のつながりに注意して英文を選択する問題

- ・ 助動詞等を補って文を完成する問題

「思考・表現」

- ・ 文章の概要を読み取る問題
- ・ 英語を聞いたり読んだりした後に英語を書く問題
- ・ 外国人に勧めたい場所を書く問題

特徴ある問題から

(数字は通過率)

中1 10 対話の場面を理解し、英文を完成させるために適切な語を答える問題 (30.1%)

Rahul : Look at this picture, Naomi. This is my favorite food.

Naomi : Is it curry?

Rahul : Yes. Many people like curry in India. My father (cooks / makes) curry every Sunday. I like his curry.

Naomi : Oh, does he? My father doesn't make it.

中2 9 基本文の語順を答える問題

(3) 休み時間に (64.0%)

A : The next class is English. I can't find my book!

Can you show me your book?

B : Sure.

(4) 登校中に (35.9%)

A : I saw you near the station yesterday. Where did you go?

B : I went to a new restaurant to have dinner with my family.

中2 11 外国に住む知人に勧めたい場所を紹介する英文を書く問題

(【内容の適切さ】49.4% 【正確さ】20.1%)

考えられる課題

- 既習の表現を繰り返し聞かせたり、読ませたりしていない。
- 即興的に英語を話させていない。
- 発話したことを正しく書いたり、文字を正しく音声化したりする力を身に付けさせていない。
- 過去の調査で明らかになった課題を解決しないまま調査を受けさせている。
- 与えられたテーマについて文章で表現することに慣れさせていない。
- 「聞いた後に書く問題」や「読んだ後に書く問題」の無解答率もそれぞれ24.7%、22.4%と極めて高く、書くことへの意欲を高める指導が十分に行われていない。

日頃の授業改善のポイント

- 教師自身が日頃の経験や考えたこと、感じたことを意図的に英語で話しましょう。
- 発問を工夫したり、生徒が英語を話す活動を通して言葉の理解を深めたり、即興的に話したりする機会を継続的に設定しましょう。
- 音読指導を徹底しましょう。その際、正しく音声化させることにより、正しく書く力を養うようにしましょう。
- 「三単現のs」などの定着に時間を要する事項は、教師自身がモデルを示すとともに、生徒が間違えた場合は、正しい表現に気付かせた上で、言い直す機会を改めて与えましょう。
- 語句や表現の導入や言語活動に当たっては、小学校の外国語学習を踏まえましょう。
- 表現内容の正確さだけでなく、表現した内容や量を重視する評価も行いましょう。

評価問題等の活用

かごしま学力向上支援Webシステムの問題、過去の入試問題や鹿児島学習定着度調査問題、全国学力・学習状況調査やその類似問題等を、補充学習や自宅学習の課題等で活用するとともに、生徒の実態に応じて教科書以外のテキストを扱うなど、より多くの英語に触れさせましょう。